

わたしの 歩んだ道

Vol.24

はすみ いづる
羽角伊弦さん (競技ヨーヨー)

春日井市出身。上条小学校卒業。法政大学在学。小学5年生のときにヨーヨーを始め、小学6年生のときに、全日本ヨーヨー選手権大会中部地区大会に初出場して8位入賞。平成28年に関東地区大会を優勝した後、中部・九州・関西地区大会でも優勝し、令和3年に全国大会優勝を果たし悲願の日本チャンピオンに。



ヨーヨーの思い出

子どもの頃から自分が興味をもったことや、やりたいと思ったことは必ず挑戦してきました。

ヨーヨーもその一つです。小学5年生の時に、家族と行ったショッピングセンターでヨーヨーのイベントをやっているところを見て、そこでパフォーマンスをしていて、そこでパフォーマンスをよく、自分もやってみたくて思ったことがきっかけです。

練習を重ねみるみる成長

ヨーヨーのいろいろな技に挑戦し、できるようになっていくのが楽しく、一気にもり込んでいきました。そして練習を重ね、始めて数か月後にはお客さんの前で披露できるほどの腕前になり、10か月が過ぎた小学6年生のときには、初めて出場した全日本ヨーヨー選手権中部地区大会で、経験豊富な大人が多く出場するなか8位入賞を果たすことができました。

結果がでない苦しい日々

周りの期待を背に、優勝を目指して多くの大会に出場しました

が、なかなか結果が出ませんでした。中学3年生の時に出場した全国大会では、自分のなかで完璧な演技ができたのに準決勝すら通過できず、上位の壁がとても高いことを思い知らされ、ヨーヨーを辞めそうになりました。

努力を続ければ実を結ぶ

お世話になった先輩から、演技と曲との合わせ方や技術面などのアドバイスをいただきながら、もう一度ヨーヨーと向き合い臨んだ翌年の関東地区大会で、念願の初優勝を果たすことができました。努力を続ければ実を結ぶことを改めて感じ、それが自信につながっていました。その後は全国大会優勝を目標に練習に励みました。

自分が満足できる演技を

数々の大会に出場することで、実践を重ねさらに成長し、10回目の出場となった昨年の全国大会で、悲願の優勝を果たすことができました。それまでの大会では、周りからの自分に対する期待を気にして本来の動きができなかったこ

とが多かったため、今回は、自分が満足できる演技をやり遂げることに集中して臨みました。その結果、平常心で演技を行い、自分本来のパフォーマンスを発揮することができました。

ヨーヨーの楽しさを 伝えていきたい

4月からは社会人になりますが、今後もSNSなどでヨーヨーの活動を発信しながら、さまざまな機会を通して子どもたちにヨーヨーの楽しさや魅力を広めていければと思います。



(一社)
日本ヨーヨー連盟

夢をかなえるために

子どもの頃の一つひとつの出会いや経験を大切にしてください。将来、必ず自分のために生きてくるものと思います。そして、自分がやりたいと思うことを見つけ、そこに熱意をもって取り組み、あきらめず努力を続けることが大切です。夢に向けて、チャレンジし続けてほしいと思います。